

那珂市議会だより

Naka City Assembly News



No.41

平成26年 5 月 8 日発行



◆那珂市立芳野小学校入学式…芳野・戸多地区の新入生 42 人が期待を胸に入学。特別教室棟も完成し、新年度が晴れやかにスタートしました。



平成26年那珂市議会第 1 回定例会

議会報告会を実施	2 ページ
第 1 回定例会提出議案等	4 ページ
平成26年度当初予算	6 ページ
議案の議決結果・委員会審議	8 ページ
市政を問う 9 議員が一般質問	15 ページ
第 2 回定例会開会予定	20 ページ

発行／那珂市議会

編集／議会広報編集委員会

〒311-0192 茨城県那珂市福田1819-5

TEL 029 (298) 1111 (代表)

FAX 029 (298) 6287

MAIL gikai@city.naka.lg.jp

URL <http://www.city.naka.lg.jp/>

初の議会報告会を実施

12月定例議会の結果を報告し

市民の皆様から意見を伺いました



1月25日 らぽーる

那珂市議会では、市民に開かれた議会を目指し、議会改革を進めております。その取り組みとして、初の議会報告会を開催しました。

議会報告会とは、議員による市民の皆様への議会内容の報告と、議員と市民の皆様の意見交換を行うもので、近年、全国的にも議会改革の一部として取り組んでいる議会が増えています。

開催概要

◎期日・場所

平成26年

1月25日(土)

らぽーる

1月26日(日)

中央公民館

◎参加者総数

約140人

◎会議概要

最初の1時間は、報告会開催の経緯の説明をしたのち、12月定例議会の議決結果などについて、資料により各委員会の委員長や副委員長が説明を行いました。その後、休憩をはさみ、1時間にわたって市民との意見交換を行いました。

意見交換では、2日間で15名の方から、議会や市政に関する様々な意見が出されました。議会として回答できるものについてはお答えしました。

◎意見交換概要

皆様からの主な意見要旨は、次のとおりです。(●市民意見、↓議会の答弁要旨)

議会に関するもの

●市議会、たよりの一般質問の記事で、市側が検討しますと答弁した内容について、その後の検討結果について記事に掲載してはどうか。↓今後検討していく。

●市の事業仕分けの結果、その効果がどうなのか公表して、更に事業仕分けを充実させてほしい。

●東海の原子力発電所再稼働について、現時点での議会の考えは。↓現時点では、そこまで答えることはできない。

●議会の一般質問者が増えるように取り組んでほしい。↓議員の発言は一般質問だけではないので、議会を傍聴してほしい。

市政に関するもの

●イノシシ対策の実施
●瓜連グラウンドが瓜連小学校へ移管したことで、管理や利用に支障をきたすのではないか。

●市の借金は300億を超えており、借金だらけの財政をどうにかしてほしい。

●分館の補助金アップをしてほしい。

●瓜連の給食センター廃止についてどうなっているのか。

●旧瓜連小学校跡地利用はどうなっているのか。

●旧瓜連商工会の廃止問題はどうか。

●菅谷地区の旧349号の道路拡幅工事の要望

●戸多小学校の跡地利用問題についてどう進めるのか。

●市の少子高齢化対策についてどう進めるのか。

●空き家条例について、その後どうなっているのか。

●菅谷地区にコミュニティセンターを建設してほしい。

●本米崎小学校の廃止後の跡地利用に市も協力してほしい。



1月26日 中央公民館

日時と会場の感想	
よい	72 人
改善した方がよい	11 人
無回答	12 人

報告会の感想	
大変よい	26 人
よい	27 人
ふつう	19 人
わるい	9 人
とてもわるい	1 人
無回答	13 人

参加者アンケート結果
議会報告会の参加者にアンケートをお願いしました。その結果は表のとおりです。
出席者は、25日が約80人、26日が約60人、その内95人の方から回答をいただきました。集計結果は、2日間の合計です。

第2回 議会報告会 開催のお知らせ

5月24日（土）午後2時～4時
ふれあいセンター ごだい

5月25日（日）午後2時～4時
ふれあいセンター よこぼり

報告会の情報の入手元 (複数回答)	
ホームページ	10 人
お知らせ版	43 人
ツイッター	0 人
フェイスブック	1 人
自治会回覧	37 人
ポスター	10 人
議員・知人から	32 人
その他	4 人
無回答	2 人

年 齢	
20代	0 人
30代	0 人
40代	2 人
50代	3 人
60代	44 人
70代	40 人
80歳以上	6 人
無回答	0 人

地区別	
神崎	8 人
額田	5 人
菅谷	25 人
五台	8 人
戸多	8 人
芳野	5 人
木崎	6 人
瓜連	20 人
市外	8 人
無回答	2 人

平成26年第1回臨時会（平成26年1月20日）

しどりの湯保養センターの運営を廃止 賛成多数により条例を廃止

市では、しどりの湯について、開設以来、市民の憩いの場として利用されてきたが、同様の施設が市内や近隣市町村において運営されており、利用者の減少及び運営に係る財政負担等を勘案し、当センターの運営を終了するため、設置及び管理に関する条例を廃止するとしました。

議会では、この議案を本会議で審議する前に、全員協議会を開催し、廃止に至る経緯などについて、市の担当者より説明を求めるなど、2時間にわたり、様々な意見が出され協議をしました。

全員協議会では主に、利用者の観点から、少数でも利用者がいるのであれば、廃止する前に、もう少し運営の見直しや改善を行い経費削減や利用率の向上について努力すべきであるという点などについて議論がなされました。市では、運営方法について、改善や努力はしたものの利用者は増加しなかったこと、アンケートでも利用者は少ないこと、施設の老朽化により風呂などの改修費用も多額になることなどから、現在のお風呂の施設は廃止し、別な形態での利用方法について検討していくということでした。

その後、本会議を開催し、採決を行いました。反対の意見もありましたが、賛成多数（賛成14人、反対7人）により、余暇活用施設「しどりの湯保養センター」の設置及び管理に関する条例を廃止する条例が可決され、「しどりの湯保養センター」の運営については、3月31日で終了となりました。

議案の賛否結果 ○：賛成 ●：反対 ※議長（福田耕四郎議員）は採決に加わりません。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議案名		筒井かよ子	寺門厚	小宅清史	福田耕四郎	綿引孝光	木野広宣	古川洋一	中庭正一	萩谷俊行	勝村晃夫	中崎政長	笹島猛	助川則夫	君嶋寿男	武藤博光	遠藤実	須藤博	加藤直行	石川利秋	木村静枝	海野進	木内良平
議案第1号 余暇活用施設「しどりの湯保養センター」の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	可決	○	○	●	—	○	●	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○

平成26年度予算・条例改正などを可決 議会構成を変更

- ★原子力安全対策特別委員会を常任委員会に
- ★新たに議員定数等調査特別委員会を組織



正副議長、各委員会委員が変わり、平成26年の定例会が始まりました。

正副議長の辞職により、新たな正副議長が選任されました。また、各委員会の委員の任期が切れるため委員会構成を変更したほか、原子力安全対策特別委員会を常任委員会とし、新たに議員定数

議会構成を変更

今定例会は、平成26年3月3日～20日の18日間にわたって開催されました。

全43議案を審議

今定例会に提出された議案等は、平成26年度予算など、全43件です。議案は付託された各常任委員会で審議されたのち、最終日にすべて可決されました。議決結果、審議内容は8ページ以降をご覧ください。

等調査特別委員会が組織されました。詳しくは、次のページをご覧ください。

那珂市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を改正し、議員の費用弁償20000円を一般の非常勤特別職と同様の額にすることを、全会一致で可決しました。今後の支給額は、距離に応じた地区ごとに、往復で0～360円となります。

議員費用弁償を見直してください。

平成26年第1回定例会概要

平成26年第1回定例会

(3月3日～3月20日)

3月3日 本会議
(閉会中の委員会報告、正副議長選挙など)

3月4日 本会議
(平成26年度執政方針、議案の上程など)

3月6日 本会議
(一般質問 5名)

3月7日 本会議
(一般質問 4名、議案質疑など)

3月11日 教育厚生常任委員会

3月12日 総務生活常任委員会

3月13日 産業建設常任委員会

3月20日 本会議
(委員長報告、議案採決など)

議案件数と結果

市長提出議案 (43件)

条例関係	19件 (すべて可決)
予算関係	15件 (すべて可決)
その他議案等	9件 (すべて可決・同意・報告)

議員提出議案 (11件)

条例関係	2件 (可決)
その他議案等	9件 (当選、選任、指名 (選挙等) 推選当選)

その他

請願・陳情	1件 (継続審査)
-------	-----------

議 会 構 成

議会構成が変わりました。正副議長、各種委員会の委員は次のとおりです。

総務生活常任委員会（8名）					
委員長	萩谷 俊行	副委員長	木野 広宣		
小宅 清史	助川 則夫	遠藤 実			
福田 耕四郎	須藤 博	加藤 直行			

産業建設常任委員会（7名）					
委員長	中崎 政長	副委員長	勝村 晃夫		
筒井 かよ子	寺門 厚	中庭 正一			
石川 利秋	木内 良平				

教育厚生常任委員会（7名）					
委員長	武藤 博光	副委員長	古川 洋一		
綿引 孝光	笹島 猛	君嶋 寿男			
木村 静枝	海野 進				



副議長
海野 進



議長
助川 則夫

議会運営委員会（6名）					
委員長	遠藤 実	副委員長	勝村 晃夫		
綿引 孝光	古川 洋一				
萩谷 俊行	中崎 政長				

議員定数等調査特別委員会

議員定数、議員報酬、政務活動費について、特に検討の必要があるため、その調査・研究のための特別委員会を組織しました。

平成26年3月3日可決（発議第3号）

議員定数等調査特別委員会（9名）					
委員長	加藤 直行	副委員長	中崎 政長		
寺門 厚	小宅 清史	綿引 孝光			
木野 広宣	笹島 猛	石川 利秋			
木村 静枝					

原子力安全対策常任委員会

今後も常に原子力施設の安全などを監視していくため、原子力安全対策特別委員会を常設の常任委員会にしました。

平成26年3月3日可決（発議第2号）

原子力安全対策常任委員会（9名）					
委員長	須藤 博	副委員長	笹島 猛		
中庭 正一	勝村 晃夫	君嶋 寿男			
武藤 博光	遠藤 実	福田 耕四郎			
石川 利秋					

人 事

（敬称略）

大宮地方環境整備組合
議会議員

茨城県後期高齢者医療
広域連合議会議員

助川 則夫

武藤 博光

萩谷 俊行

福田 耕四郎

任期

須藤 博

加藤 直行

平成26年3月3日
平成27年3月19日

海野 進

任期

固定資産評価審査委員
会委員

平成26年3月3日
平成28年3月9日

高村 和正(南酒出)

茨城北農業共済事務組
合議会議員

任期（3年）

平成26年3月29日
平成29年3月28日

勝村 晃夫

中崎 政長

石川 利秋

監査委員会委員

福田 耕四郎(福田)

任期
平成26年3月3日
平成28年3月9日

任期

平成26年3月20日
平成28年3月9日

平成26年度予算

一般会計 181億5,000万円
各種特別会計 138億9,600万円

※一般会計、特別会計、水道事業会計、いずれの金額も千円台を四捨五入したものです。

平成26年度 一般会計予算（歳入内訳）

▲は減額

予算区分	26年度当初	構成比 (%)	前年比較増減
市税	67億 483万円	36.9	2億5,977万円
地方交付税	37億5,110万円	20.7	▲7,173万円
国庫支出金	21億 797万円	11.6	1,075万円
市債	16億1,116万円	8.9	▲3億6,493万円
県支出金	11億9,514万円	6.6	▲9,640万円
繰入金	6億5,655万円	3.6	▲9,193万円
地方消費税交付金	5億6,885万円	3.1	1億1,585万円
諸収入	3億9,899万円	2.2	1,283万円
地方譲与税	3億 800万円	1.7	1,750万円
分担金及び負担金	2億7,652万円	1.5	889万円
繰越金	2億5,000万円	1.4	0万円
使用料及び手数料	1億9,961万円	1.1	271万円
自動車取得税交付金	3,100万円	0.2	▲3,700万円
地方特例交付金	2,830万円	0.2	▲70万円
配当割交付金	2,516万円	0.1	1,416万円
利子割交付金	1,301万円	0.1	21万円
財産収入	1,196万円	0.1	77万円
交通安全対策特別交付金	850万円	0.0	0万円
株式等譲渡所得割交付金	175万円	0.0	▲75万円
ゴルフ場利用税交付金	160万円	0.0	0万円
合 計	181億5,000万円	100.0	▲2億2,000万円

平成26年度 一般会計予算（歳出内訳）

▲は減額

予算区分	26年度当初	構成比 (%)	前年比較増減
民生費	60億1,525万円	33.2	1億8,637万円
土木費	25億4,439万円	14.0	▲1億7,642万円
総務費	24億7,213万円	13.6	1億 322万円
公債費	19億2,671万円	10.6	▲3,878万円
教育費	17億4,264万円	9.6	▲2億6,879万円
衛生費	12億2,587万円	6.8	▲8,460万円
消防費	10億 948万円	5.6	5,993万円
農林水産業費	7億6,932万円	4.2	565万円
議会費	2億2,377万円	1.2	744万円
商工費	2億 42万円	1.1	3,854万円
予備費	2,000万円	0.1	0万円
災害復旧費	1万円	0.0	▲5,256万円
諸支出金	1万円	0.0	0万円
合 計	181億5,000万円	100.0	▲2億2,000万円

予 算

平成26年度 特別会計予算

▲は減額

会計区分	主な内容	予 算 額	前年比較増減
国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	国民健康保険加入者の医療費（増加している）	57億3,400万円	1億5,700万円
下水道事業特別会計予算	下水道の整備、維持管理費	23億3,000万円	▲1億5,400万円
公園墓地事業特別会計予算	市営公園墓地の維持管理費	1,200万円	▲100万円
農業集落排水整備事業特別会計予算	農業集落地区の下水道の整備、維持管理費	8億1,100万円	▲1億3,000万円
介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	介護保険加入者の介護サービス費用（増加している）	43億1,000万円	1億9,000万円
上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計予算	上菅谷駅前地区の区画整理事業費	1億8,500万円	2,200万円
後期高齢者医療特別会計予算	75歳以上の高齢者の医療費（増加している）	5億1,400万円	4,300万円
合 計		138億9,600万円	1億2,700万円

平成26年度 水道事業会計予算

収支区分		予算額	収支区分		予算額
収 益 的 収 支	収 入	11億8,774万円	資 本 的 収 支	収 入	1億1,566万円
	支 出	11億3,664万円		支 出	4億2,194万円

補 正 予 算

平成25年度補正予算を原案のとおり可決

※金額は千円台を四捨五入したものです。▲は減額です。

会 計 名	補 正 額	補正内容	補正後の総額
一般会計補正予算（第4号）	▲1億2,053万円	安心安全対策両宮排水路整備事業（工事）の減額など	189億4,047万円
国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	▲3,174万円	高額医療費共同事業医療費拠出金の減額など	58億6,131万円
下水道事業特別会計補正予算（第4号）	▲1,137万円	起債償還元金の減額など	29億197万円
農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第4号）	▲5,541万円	農業集落排水整備事業（工事）の減額など	9億8,421万円
介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	▲9,186万円	介護サービス給付事業の減額など	40億6,643万円
上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	▲600万円	区画整理事業費（工事）の減額	1億5,700万円

議 案 の 議 決 結 果 一 覧

議 案 (執行部提案)		
件 名	結 果	内 容
第2号 那珂市手数料条例の一部を改正する条例	可決	那珂市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例にあった許可申請手数料を、那珂市手数料条例の中に含めるもの
第3号 那珂市公園墓地条例の一部を改正する条例	可決	消費税の変更に伴い、公園墓地の墓地管理料及び公園墓地使用許可証の再交付手数料の改定を行うもの
第4号 那珂市環境審議会条例の一部を改正する条例	可決	諮問機関等への議員参画の見直しにより、那珂市環境審議会の委員定数を20人以内から16人以内に改めるもの
第5号 那珂市障害程度区分認定審査会の委員の定数を定める条例の一部を改正する条例	可決	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正により条例の一部を改正するもの
第6号 那珂市放課後学童保育対策事業条例の一部を改正する条例	可決	芳野学童保育所の新築移転及び戸多学童保育所の廃止に伴い、条例の一部を改正するもの
第7号 静峰ふるさと公園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	「しどりの湯保養センター」の廃止に伴い、「しどりの湯保養センター」利用者への静峰ふるさと公園グラウンド・ゴルフ場利用料金の減額規定を削除するため、条例の一部を改正するもの
第8号 那珂市公共下水道条例の一部を改正する条例	可決	消費税法等の一部改正に伴う施設の使用料金表の改正のため、また、条例中の一部文言を改めるため、条例の一部を改正するもの
第9号 那珂市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	
第10号 那珂市水道事業給水条例の一部を改正する条例	可決	茨城県安全な飲料水の確保に関する条例の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもの
第11号 那珂市立学校給食センターの設置及び運営に関する条例の一部を改正する条例	可決	諮問機関等への議員参画の見直しにより委員構成の見直しをするため、条例の一部を改正するもの
第12号 那珂市社会教育委員に関する条例の一部を改正する条例	可決	社会教育法の改正により、条例の一部を改正するもの
第13号 那珂市公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例	可決	運営審議会委員で「各まちづくり委員会から推薦された者」の任期と、まちづくり委員会役員の任期のずれを整合させるため、条例の一部を改正するもの
第14号 那珂市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	那珂市青少年問題協議会設置条例の廃止、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の改正により、条例の一部を改正するもの
第15号 那珂市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例	可決	消費税の変更に伴い、危険物規制関係等の事務手数料の改定を行うもの
第16号 那珂市青少年問題協議会設置条例を廃止する条例	可決	青少年育成市民会議に青少年健全育成に関する取り組みを一元化するため、青少年問題協議会を廃止するもの
第17号 那珂市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例	可決	市民の安全と良好な生活環境の保全や災害防止を目的とし、土地の埋立て等の取り扱いを明確にし、開発行為等の土地の埋立ての規制を強化するため、条例を全部改正するもの
第18号 那珂市安全な飲料水の確保に関する条例	可決	飲用に供する井戸等及び水道法等の規制対象とならない、水道の衛生対策等について、茨城県より那珂市に権限が移譲されるため条例を制定するもの
第19号 那珂市消防長及び消防署長の資格を定める条例	可決	消防組織法の改正により、当市の消防長や消防署長の資格基準を定めるため、条例を制定するもの
第35号 那珂町・瓜連町新市まちづくり計画の変更について	可決	合併特例債の適用期限が10年間延長され、平成36年度までになったことにより、那珂町・瓜連町新市まちづくり計画を変更するもの
第36号 公の施設の広域利用に関する協議について	可決	瓜連グラウンドが瓜連小学校の施設となったことから、公の施設の広域利用に関する協定による施設から削除するもの
第37号 市道路線の認定について	可決	道路法の規定により、市道13路線の認定を行うもの
第38号 市道路線の廃止について	可決	道路法の規定により、市道3路線の廃止を行うもの
第39号 工事請負契約の締結について	可決	消防救急無線や消防指令の業務を広域で共同管理、執行する、消防救急デジタル無線及び高機能消防共同指令センターを整備するため、工事請負契約を締結するもの
第40号 那珂市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正により、非常勤消防団員退職報償金を増額するもの
同 意		
第1号 那珂市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	人事案件 (5 ページを参照)
第2号 那珂市監査委員の選任について	同意	

議案審議（各常任委員会）

総務生活常任委員会

平成26年度一般会計予算

問 消費税の増税によつて、戸籍や住民票の手数料は上がるのか。

答 戸籍や住民票の手数料は見直す必要があると思うが、現行のまま変わらない。消費税により増額となるのは、水道、下水道、公園墓地、学校給食など。

問 元金16億8200万円と、利子2億4400万円を返済することになっている公債費の起債総額は。

答 平成26年度末の借入残高は、172億1979万6千円を見込んでいる。

問 法律相談事業は予約がいっぱいで相談できない、相談時間が短いとの話もあるが、その状況は。

答 現在のところ、申込者にはほぼ対応できている。時間も今年度から20分に拡大し、相談者もある程度見通しがつくところまで話ができている。

問 事業仕分けで指摘があった那珂聖苑の運営の改善はあるのか。

答 運営方法を見直し、経費を削減できるよう検討している。

問 予算で750食、750本となっている非常用食料の備蓄は、どの程度の災害を想定したものなのか。

答 東日本大震災の避難者約2200人の3日分程度。現在、約5800食の備蓄が済んでいるが、今後も引き続き備蓄していく予定。賞味期限の都合、半分程度は流通備蓄という形で対応していきたい。

那珂市安全な飲料水の確保に関する条例

問 今後、家庭用の井戸を掘る場合は市に届け出て、それが飲料水であれば定期的に水質検査を行うということか。水質検査にはいくらくらいかかるのか。

答 家庭用飲料水の定期的な水質検査は努力義務になる。水質検査は、要望があれば市で業者に依頼するが、おおよそ9000円くらいだと聞いている。



総務生活常任委員会での審議

議 案（予算関係）			
件 名	結果	内 容	
第20号 平成25年度那珂市一般会計補正予算（第4号）	可決	平成25年度各種会計補正予算（7ページを参照）	
第21号 平成25年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第2号）	可決		
第22号 平成25年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	可決		
第23号 平成25年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計補正予算（第4号）	可決		
第24号 平成25年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）	可決		
第25号 平成25年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	可決	平成26年度各種会計予算（6、7ページを参照）	
第26号 平成26年度那珂市一般会計予算	可決		
第27号 平成26年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	可決		
第28号 平成26年度那珂市下水道事業特別会計予算	可決		
第29号 平成26年度那珂市公園墓地事業特別会計予算	可決		
第30号 平成26年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算	可決		
第31号 平成26年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	可決		
第32号 平成26年度那珂市上菅谷駅前地区土地区画整理事業特別会計予算	可決		
第33号 平成26年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算	可決		
第34号 平成26年度那珂市水道事業会計予算	可決		

発 議（議員提案）			
件 名	結果	内 容	
第1号 那珂市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	議員の費用弁償2,000円を廃止し、一般の非常勤特別職と同様の扱いにするもの	
第2号 那珂市議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	原子力安全対策特別委員会を常任委員会に改めるもの	
第3号 議員定数等調査特別委員会の設置について	可決	議員定数等調査特別委員会を設置するもの	

平成25年度那珂市下水道事業特別会計補正予算（第4号）

問 歳入の受益者負担金増額の理由は、加入件数の増加とのことだが、何件くらいか。また、逆に使用料及び手数料は減っているが、その理由は。

答 件数は48件で、当初の見積りより増えている。また、一括納付の割合増による増額もあり、受益者負担金は併せて3500万円増えている。使用料は、節水型というものの普及もあり、各家庭で抑えようとした結果と考えている。計算すると、見積りより1世帯当たり87円ほど少なくなっている。

平成26年度下水道事業特別会計予算

問 使用料及び手数料について、消費税増税によって金額が切替わ

賛成多数により議決した議案

○：賛成 ●：反対 ※議長（助川 則夫議員）は採決に加わりません。

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議 案 名	議決結果	筒井かよ子	寺門厚	小宅清史	助川則夫	綿引孝光	木野広宣	古川洋一	中庭正一	萩谷俊行	勝村晃夫	中崎政長	笹島猛	君嶋寿男	武藤博光	遠藤実	福田耕四郎	須藤博	加藤直行	石川利秋	木村静枝	海野進	木内良平
議案第3号 那珂市公園墓地条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第8号 那珂市公共下水道条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
議案第9号 那珂市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	－
議案第15号 那珂市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第26号 平成26年度那珂市一般会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第27号 平成26年度那珂市国民健康保険特別会計（事業勘定）予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第28号 平成26年度那珂市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第29号 平成26年度那珂市公園墓地事業特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第30号 平成26年度那珂市農業集落排水整備事業特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第31号 平成26年度那珂市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第33号 平成26年度那珂市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
議案第34号 平成26年度那珂市水道事業会計予算	可決	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○



産業建設常任委員会での審議

る3月、4月の料金の算定方法は、また、8%になった分の徴収はいづからか。

答 公共下水道条例の一部改正により、4月30日までに徴収義務が確定した分の税率は5%、それ以降は8%としている。2カ月まとめて検針するため、4月30日までに検針を行う2、3月分は5%、6月に行う4、5月分は8%となり、4、5月分は7月に支払うことになる。

問 下水道の災害復旧を優先することだが、新規部分はどれくらい後になり、その面積はどの程度なのか。

答 災害復旧のための調査が不十分な部分もあり、その調査は26年度の委託費に計上しているため、早急に調査をしたい。十分な調査が済めば、27年度には新規整備分の事業費の投資額を復活していきたい。工事の単価から、縮小された新規整備面積は20ヘクタールくらいと考えている。

平成26年度一般会計予算

問 新規事業の地域資源創造事業の内容は。

答 普段住んでいる地域を新たな視線で見つめ直し、そこにあるお宝を見つけ出し、つなぎ合わせ、1つの物語を作るというのが大きなテーマで、それを那珂市の新たな魅力として展開していくことが目的。今回新たに受講

生を募集する。受講生は何グループかに分かれ、市が指定した地区に行き、その物語を作るが、その作業とおして地元への愛情を深めてもらうことを狙いとしている。受講生の対象は特に設けないうもりだが、市内在住者を優先に考えている。

教育厚生常任委員会

平成26年度一般会計予算

問 瓜連グラウンドは4月から瓜連小学校の所有となるが学校とグラウンドの間の道路はどのような状況になっているのか。

答 学校としては、車が通れないようにし、グラウンドと校舎敷地が一体的に安全に使えるようにしてほしいとのことなので、その旨をまちづくり委員会に説明し、各自治会の意見等を取りまとめてもらっているが、結論はまだ出ていない。

問 小学校教育振興費が25年度と比べて194万6000円の減額となった理由は。

答 パソコン教室の児童用パソコンのリースが25年度で切れる。26年度はこれを再リースするため、リース料が10分の1程度になることが主な理由となっている。

問 学校給食費を4月から100円値上げするが、この程度の値上げで賄いきれるのか。

答 もう少し給食の内容を充実させたい、来年の消費税増税を見込んでもう少し値上げするという議論が内部でもあった。26年度はこの額で行い、満足のいく給食を提供できず、さらに消費税も上がる場合には、改めて考える。現時点ではこの給食費で努力したい。

問 医療扶助費が相当伸びているが対策は打っているのか。

答 医薬品等は、レセ

プト点検員による点検を行い、似た薬が出ている場合は担当ケースワーカーが確認を行っている。また、長期外来、長期入院患者については、担当ケースワーカーが病院を回り、医療、入院の必要性、どのくらいの頻度で医者にかかるべきか等を確認し、医療扶助費の削減に努めている。

平成26年度国民健康保険特別会計（事業勘定）予算

問 特定健康診査とは。どのような流れでこの検査を受けることになるのか。

答 総合健診と同時に、行っており、腹囲等が基準を超えた場合に成人病予防のために受けてもらうというもの。一般的にはメタボ検診といわれるが、二次検診や、保健師による特定保健指導を行い、生活習慣の改善、栄養面の指導を行うという内容になっている。

平成26年度介護保険特別会計（保険事業勘定）予算

問 地域密着型介護・予防サービス給付費と特定入所者介護・予防サービス給付費が前年度比4倍の理由は。

答 地域密着型サービスは、現在、小規模多機能型居宅介護事業所とグループホームが建設中で、その分を見込んでいます。特定入所者介護・予防サービス費は、現在、デイサービスを行っている事業所で短期入所生活介護事業を始めることからその分を見込んでいる。



教育厚生常任委員会での審議

教育厚生常任委員会

調査完了

調査事項

1 より良い教育環境の整備について

本件については、これまで視察を含め7回の審議を行いました。2月14日の審議では、これまでの審議のまとめとして、那珂市において、いじめに対してより良い対応をしていくための意見を出し合いました。

委員からは、教師と子供のふれあいを増やせるよう人材確保や教育予算増額を図る、子供たちがいじめ撲滅に主体的に取り組む関心を深める指導をするなどの意見が出されました。また、地域の方を交えていじめ予防策を話し合う第三者委員会を作る、相談体制の充実を図る、いじめが多い地域の学校は重点的にメリハリをつけて対応する、地域から協力事

業所、協力団体という形で力を借りるなど、外部との連携の案も出されました。

以上のことから、引き続き先生と子供の信頼関係をしっかりと築いていくこと、教員の負担軽減によって、子どもたちをよく見る体制をさらに進めていただくことを執行部に要望し、全会一致で調査完了とすべきものと決定しました。



H26.2.14
教育厚生常任委員会

原子力安全対策特別委員会

調査完了

調査事項

- 1 住民の安全確保に関する事項
- 2 周辺環境保全に関する事項
- 3 原子力安全協定に関する事項
- 4 核融合研究施設に関する事項
- 5 その他関連する事項

J・PARCセンターの事故後の経過

J・PARCセンターから、昨年5月に発生した事故の原因と再発防止策、事故現場のハドロン実験施設以外の施設の再開について説明を受けました。事業所で実施した非常事態対応訓練への質疑には、何百人もが動くので伝達の遅れもあったが、一歩一歩着実に進んでいる実感はあると答弁がありました。その他、まず事故を起こさないこと、再発防止策

を全職員に改めて認識させることを求める意見も出されました。

東海再処理施設の一部施設の稼働再開

東海再処理施設では、プルトニウム溶液と高放射性廃液の安全性を高めるため、プルトニウム転換技術開発施設とガラス固化技術開発施設の稼働を再開するとの説明を受けました。高放射性廃液を安定化したガラス固化体は、30～50年ほど保管した後に地層処分する考えで、処分場が決まり次第持つていくとのことでした。

モニタリングステーション自家発電装置

執行部から、平成27年度設置予定のモニタリングステーションの自家発電装置について、木崎局は地震による地盤へのダメージがあるため、後台局に変更するとの報告がありました。

気体廃棄物の放出状況

すべての原子力事業所において、放出管理目標値を下回っていたことを確認しました。

これまでの審議の結果、住民の生命及び財産を守るという観点から、調査研究、原子力施設への監視を続けていく必要があります。この件を、今後新たに設置される原子力安全対策常任委員会に引き継ぐこととし、調査完了とすることを全会一致で決定しました。



H26.1.21 原子力安全対策特別委員会

議会改革特別委員会

調査事項

- 1 議会基本条例に関する事項
- 2 その他議会改革に関する事項

調査完了

議会基本条例の制定、議会報告会の開催など 所期の目的を達成し、調査完了としました

◎第23回 1月17日

◆議会報告会

議会報告会の準備状況確認、当日のスケジュール、役割分担、司会進行、配布資料、アンケートなどについて確認しました。

◎第24回 2月12日

◆議会報告会

議会報告会の実施概況、アンケート結果、反省点や今後の改善点などについて意見交換をしました。

◆議員費用弁償見直し

議員の費用弁償は、日額20000円を支給していたものを、4月から一般の非常勤特別職と同じ、距離別の支給とするため、3月議会に提出する条例改正案について審議しました。

◎第25回 2月17日

◆原子力安全対策特別委員会の常任委員会化

現在、原子力施設などの安全を監視するため、原子力安全対策特別委員会を設置していますが、これからも常に原子力施設の安全などを監視していくために、常設の常任委員会とすることになりました。

◆議会報告会

次の議会報告会は、3月定例会での当初予算審議結果を報告すること、重要であることや、農繁期などを考慮し、5月24日（土）、25日（日）に開催することとしました。

◆議会改革特別委員会の調査完了

当特別委員会設置の最大の目的は、議会基本条例の制定に関する

第2回 議会報告会

議会の結果を報告します。

地域の課題や市政についてご意見をお聴かせください。

・5月24日（土）午後2時～4時
（ふれあいセンター ごだい）

《出席議員》

助川則夫/寺門厚/綿引孝光/中庭正一/萩谷俊行/
勝村晃夫/中崎政長/笹島猛/武藤博光/遠藤実/
福田耕四郎/加藤直行/木内良平

・5月25日（日）午後2時～4時
（ふれあいセンター よこぼり）

《出席議員》

助川則夫/海野進/筒井かよ子/小宅清史/木野広宣/
古川洋一/勝村晃夫/君嶋寿男/遠藤実/須藤博/
石川利秋/木村静枝

ことであり、条例は、平成25年10月に制定し、議会報告会の開催や様々な議会改革に対しても取り組んできました。それらのことから所期の目的は達成したと判断し、当委員会については、調査完了とすべきであるとの意見にまとまりました。

なお、今後も引き続き、議会改革について

は、市民に開かれた議

会を目指して進めていく必要があることから、議会基本条例に基づく議会改革については、議会運営委員会を進めていくべきであるとなりました。

さらに、議員定数や報酬等については、特に調査検討していく必要があるため、新たな特別委員会を設置して検討していくという方針としました。

全 員 協 議 会

全員協議会で市より説明等がされた、主な内容についてお知らせします。

◎ 3月4日

◆第3次那珂市行財政改革大綱実施計画

平成26年度から30年度まで、5年間で取り組む行財政改革の計画について市より説明がありました。この計画の概要は、住民サービスの向上、経費の削減、財源の確保など、効率的で効果的な行政運営をしていくための主な取り組みや目標を示すものです。

(行財政改革推進室)

◆東京ガス「茨城く栃木パイプライン」整備事業の経過

東京ガスが実施しているガス管理設工事の進捗状況について、市より説明がありました。この計画は、日立港から栃木県までガスパを通し、ガスを供給するものです。那珂市内は、主に常磐高速道路の側道にガスパを

埋設する工事を進めております。市内のガス管理設の進捗率は、平成26年1月末時点で約56%ということです。また、今後は、飯田と向山にガスのバルブステーションの建設を実施していく予定ということです。

(政策企画課)

◆市立額田保育所民営化の移管先法人

額田保育所を民営化するため、選定委員会での選定結果について市より報告がありました。移管先は「学校法人 大成学園」とし、今後、移管に向けて準備作業に入ることです。

(こども課)

◆那珂市商工業振興計画

市内の商業や工業を振興していくため、平成26年度から30年度までの5カ年計画で取り

組む計画について市より説明がありました。商業振興の基本方針は、「商業機能の充実による、住みやすく、価値ある時間を過ごせるまちの創造」。工業振興の基本方針は、「工業の価値向上による、豊かで活力あるまちの創造」としています。

(商工観光課)

◎ 3月18日

◆那珂市小中一貫教育の基本方針

市の教育委員会で検討をしていた小中一貫教育の基本方針がまとまり、市の教育委員会より説明がありました。これは、義務教育の9年間を見通して、一貫性のある教育の場を設定できる一貫教育を推進することにより、那珂市学校教育の個性と創造性に富み、心身ともに健康で人間性豊かな児童生徒を育成するという目標を達成することを目的としています。

(学校教育課)

※この件については、説明後に議員から様々な意見が出されたため、議会の教育厚生常任委員会において協議をしていくことになりました。



◎その他説明等がされた案件

◆那珂市行政組織（案）について（総務課）

◆第2次那珂市地域福祉計画（案）について（社会福祉課）

◆那珂市読書活動推進計画について（図書館）

H 26.3.18 全員協議会

市政を問う

Q
&
A



9人の議員が登壇し、
様々な視点から
市政を質しました。

交通弱者のための地域交通計画を

さまざまな角度から検証していく

デマンドタクシー制度ができてから1年になります。利用状況はどうですか。実証運行は、平成26年度までとなっていますがその後はどうするのですか。

水戸・常陸太田間の路線バスがなくなります。今後ますます交通弱者が増えてくることが予想されます。交通権を守ることは、自治体の責務です。

活発化してきている自治組織等を活用して地域住民、公共交通運行事業者、自治体が一緒になって協議し、地域交通整備計画をつくることを提案します。

企画部長 デマンド

タクシーの利用者は、本年1月末で9072人です。1日平均約50人で利用は順調です。市民からも好評を得ているので、27年度以降も継続していきます。

平成20年10月に、公

公共交通事業者や、まちづくり協議会の方で構成される那珂市地域公共交通会議で検討し、那珂市地域公共交通連携計画を策定しています。地域の交通弱者の交通手段をどう確保していくか行政として何ができるか考えます。

ひまわりタクシー

デマンドタクシー利用者の不満・要望の声

- ① 土日でも運行して
- ② もっと遅くまで運行して
- ③ 乗降場所を増やして
- ④ 市外にも運行して
- ⑤ 目的地など用事が済むまで待って

質問事項

- 1 地域交通について



木村 静枝 議員

入札不調と国交省通達について

本年度11件不調となりました

市発注の公共事業の不調不落が多くなっている原因と国交省通達を市としてどう対応していくのか。

総務部長 専門技術者や作業員の不足、調達資材等が価格の高騰により確保が困難な状況、工期延長や発注時期のおくれなどあり工事が集中した。又発注件数がふえたことが原因と考えております。

建設部長 公共工事予定価格は市場の実勢を適正に反映して、積算にあたっては新労務単価を早急に適用し既契約工事についてもインフレスライド条項の適用をしてまいります。

市長 震災のおり建設業者さんには、応急処置とか、復旧、復興工事で随分お世話になった。地元の業者を大事にし地元優先で今工事発注をしております。



整備が進む鴻巣地区の集落排水

質問事項

- 1 女性管理職について
- 2 市発注公共事業について



中崎 政長 議員

補助金のあり方を見直すべきでは

新規の団体は公開プレゼンの形で

各種団体の運営費補助については、団体に創意工夫・努力を求めて自立を促す必要がある、また事業費補助についても、団体ではなく市の発展に寄与する活発かつ前向きな事業そのものに対して必要な額を補助するのが本来のありべき姿であり、既得権というものは存在しないと思います。補助金の必要性や交付額の妥当性（増額もあり）について見直すべきかと思いますが、考えを伺います。

総務部長 市行政改革大綱の集中改革プランに基づき、外部委員を含めた新しい審議体制で、使途内容の明確化、繰越金の適正化、具体的事業に対して補助率を2分の1の範囲内にするなどの方針のもと、各団体の自立を促す形で見直しに取り組んでいます。市の施



ひまわり大使
ナカマロちゃん

那珂市の更なる発展のために

質問事項

- 1 各種団体補助金について
- 2 職員の資質向上について



古川 洋一 議員

市民からの苦情に対しての対応は

条例に基づき管理者に通知を

那珂市空き地等の適正管理に関する条例の目的は、空き地等の管理の適正化を図ることにより良好な生活環境を保全し、もって市民の健康の維持及び安全な住民生活を確保することを目的としております。しかしながら、

市民生活部長 市では、条例に基づき、現地を確認後、雑草等の除去、空き地等の改善のお願いを空き地等の管理者に通知させていただいております。

雑草等が繁茂し、さらに廃棄物等が放置されている状態で、地域住民に迷惑を及ぼし、良好な生活を著しく損なっております。私も、空き地等の雑草の問題、そして空き地への廃棄物が置かれ環境に害を及ぼすおその問題など、多くの住民から毎日が不安であるとの相談を受けております。私もボランティア活動で不法投棄された土地、草木が生い茂った土地等の再生に取り組んでおります。そこで、空き地管理に対する市民からの苦情に対する



放置されている空き地

質問事項

- 1 耕作放棄地について
- 2 空き地等の適正管理について



石川 利秋 議員

市長任期最終年の市政運営を問う

道の駅に代わる構想の道筋つける

市長は就任4年目を迎えますが、10年後、20年後の那珂市をどのような姿に導いていくのか不透明です。将来の那珂市が輝けるために、①任期残り1年で具体的に何をやりたいのか②最大の行財政改革である市町村合併についてどう考えるか③魅力ある那珂市の顔をどのように作っていくのか④那珂市の農業の振興をどう図っていくのか、の4点についてお伺いします。

市長 ①残された公約2項目の実現として、道の駅に代わる構想に道筋をつけることと企業誘致の促進であります。②ひたちなか市や東海村、あるいは水戸市とは合併ありきではなく、まずは広域連携の一つとして、課題等を共有できるように職員同士の勉強会などに前向きに参加して

いく考えであります。③上菅谷駅及び周辺や那珂IC及び周辺の活性化とひとや文化・歴史・食等の那珂市ブランド力を高め発信します。④儲かる農業を目指す、農商連携による販売先の確保を図ります。



那珂市の顔である那珂市の鉄道の玄関口
上菅谷駅とその周辺（上段の写真）、高速道の
玄関口那珂インターとその周辺（下段の写真）

質問事項

- 1 市長の市政運営について
- 2 子どもの定期予防接種について
- 3 戸多小学校の芳野小学校への統合について



寺門 厚 議員

しどりの湯の廃止に伴う代替案を

別に使いたいのので考えていません

しどりの湯の廃止が決まってから予想以上に多くの方々から「残念だ」という声を頂きました。しどりの湯の廃止理由の中にも「市内外のお風呂施設があるのでそちらを利用してほしい」と説明があったように記憶しております。

サービスの充実のため、効果的に予算を活用したいと考えておりますので、日帰り入浴施設利用者に対する助成は今のところ考えておりません。

行田市や本庄市では市民の経済的負担の軽減、及び心身の健康保持を図り高齢者福祉の向上、という目的のもと入浴料の一部を助成する条例がございます。そこで本市でも、常陸大宮市や常陸太田市にある温泉施設や市内の民間の入浴施設を那珂市民が利用する場合、健康増進、予防医学の福祉の観点から、ある年齢以上の方には入浴料の一部を助成してはいかがでしょうか。

市長 高齢者福祉の



廃止になった
余暇活用施設「しどりの湯」保養センター

質問事項

- 1 公共交通機関の利用促進策を
- 2 公共施設の利用促進を
- 3 那珂市の魅力発信策について



小宅 清史 議員

救急医療情報キットの配布促進を

手続の簡素化を見直していく

「救急医療情報キット」は65歳以上のひとり暮らし高齢者や身体障がい者等を対象に、本人の申請に基づき現在416名に配布しています。配布率は25%にすぎません。さらに活用していただくため、申請がなくても対象者に配布してはどうですか。

また、高齢者や認知症患者が外出先で倒れて身元がわからない場合でも、事前に地域包括支援センターに住所・氏名・かかりつけ医や病気などの個人情報登録して番号で管理しているキーホルダーを持っていけば、24時間態勢で本人確認が可能システムである「見守りキーホルダー登録システム」を導入してはどうですか。

保健福祉部長 情報キットについては、希望する対象者全員に配

布できるよう、手続の簡素化を見直していきます。キーホルダー登録システムについては、先進地から事例や導入後の課題などの調査を行い、費用対効果を検証していきます。



救急医療情報キット

質問事項

- 1 DV（ドメスティック・バイオレンス）・虐待対策の推進について
- 2 高齢者の見守り体制の充実について



遠藤 実 議員

ふるさと納税のお礼に特産品を

特産品のアピール方法として有効

ふるさと納税は、自分の生まれ故郷や応援したい自治体に全国何処に住んでいても寄付することが可能であり、居住地の住民税の軽減やお礼品の受け取り等お徳感から最近注目を集めております。お礼品の充実を図る自治体もある中で、那珂市では今後用意する方向性がありますか。

力を入れている施策であり、その成果を非常に期待しています。認証された特産品を広く流通させることは大変重要なことであり、特産品のアピール方法としては有効な手法の一つであると考えていたところでもあります。

総務部長 寄付行為を積極的に促す行いは如何なものかという考えと、市として年間を通してアピールする産品が乏しい現状がありました。本年度以降産品ブランド化が進んでゆく中で、特産品のアピール方法としてふるさと納税の制度を活用するのも一つの方法かと考えております。

市長 「那珂市特産品ブランド認証制度」は那珂市のイメージアップ戦略の一つとして



那珂市の特産品

質問事項

- 1 国際交流の取組について
- 2 ふるさと納税について



筒井かよ子 議員

食物アレルギー事故防止の徹底を

マニュアルを作成し緊急時に対応

東京都調布市で平成24年12月、食物アレルギーのある小学5年の女子児童が給食後、アナフィラキシーショックで死亡しました。この事故は、担任の初期対応や養護教諭のエビペン投与が遅れたことが大きな要因と言われております。

そこで、本市における食物アレルギーを持つ児童・生徒の人数とアレルギーに対する配慮、管理はどのようにしているのか伺います。また、調布市の事故を機に、本市として事故防止の取り組みは強化されたのか伺います。

教育部長 小学生83名、中学生が46名です。食物アレルギーの配慮として、個々のケースに応じて、教育委員会、給食センター、学校、さらには保護者による打ち合わせを行

い、かかりつけの医療機関、消防本部と連携を図る体制をとっています。また、調布市の事故を受けて、食物アレルギーを持った児童・生徒の緊急事態対応マニュアルを作成して、一人一人の緊急時に対応できるように体制を強化しております。



食物アレルギー

- ★アナフィラキシーとは、短期間に全身にあらわれる激しい急性のアレルギー反応です
- ★エビペンはアナフィラキシーがあらわれた時に使用し、医療機関で治療を受けるまでの補助治療剤です

質問事項

- 1 学校のアレルギー対策について
- 2 公共事業の現状について



笹島 猛 議員

議 会 日 誌

1 月		2 月	
8 日	広報編集委員会	7 日	県市議会議長会議員研修 (鉾田市)
15 日	広報編集委員会	12 日	議会改革特別委員会 議会運営委員会
17 日	議会運営委員会 議会改革特別委員会	14 日	教育厚生常任委員会
20 日	全員協議会・臨時会	17 日	議会改革特別委員会
21 日	原子力安全対策特別委員会	24 日	議会運営委員会 全員協議会 原子力安全対策特別委員会
24 日	全員協議会		
25 日	議会報告会 (らぽーる)		
26 日	議会報告会 (中央公民館)		

平成26年第2回定例会開会予定

月日	曜	議 事 予 定
6・9	月	本会議 ○開会 ○議案上程など
6・11	水	本会議 (一般質問)
6・12	木	本会議 (一般質問)
6・13	金	本会議 (一般質問) ○議案質疑 ○議案の委員会付託 ○陳情・請願の委員会付託
6・16	月	常任委員会
6・17	火	常任委員会
6・18	水	常任委員会
6・24	火	本会議 ○委員長報告・採決など ○閉会

この会期日程は、議案件数や一般質問者数によって変更になる場合があります。

日程については、議会事務局や議会ホームページでもご案内しています。お気軽にお電話、お立ち寄りください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、5月30日(金)までにお願いします。

●● 議会の傍聴について ●●

議会の本会議・常任委員会・特別委員会・全員協議会を公開しています。

傍聴をご希望の方は、事前に会議の開催日や時間をご確認の上、おいでください。所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できます。

お気軽にお越しください。

3月定例会の傍聴者数86人(延べ人数)

◆◆ 議会録画映像を公開しています ◆◆

3月定例会の録画映像を「You Tube」の動画サイトに掲載しました。詳しくは、那珂市ホームページの市議会のページをご覧ください。

那珂市ホームページ

<http://www.city.naka.lg.jp/>

那珂市議会のページ内の「議会中継」から「You Tube」を開くことができます。

表紙に寄せて

戸多小学校が芳野小学校へ統合となり初めての入学式は、新入生ばかりでなく在校生も、輝ける未来に向かって元気に歩んでいこうという決意が漲り、感動しました。そしてこの地域の宝である子供達の健やかな成長を支える芳野・戸多地区の市民にとっても、新たな門出になりました。

編集後記

小宅 清史



この2年間で、那珂市議会基本条例を制定し様々な議会改革に取り組んできた議会改革特別委員会は、その役目を終え解散となりました。残った課題は議会運営委員会に委ねられました。

『春植えざるば秋実らず』更にここからが正念場。今の議員で「若い人が議員を目指す」と思える議会を作っていきます。

議会広報編集委員会
委員長 寺門 厚
副委員長 小宅 清史
委員 筒井 かよ子
委員 木野 広宣
委員 君嶋 寿男
委員 木村 静枝
委員 海野 進